



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCAs

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2024年11月 第165号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2024~2025 年度 主題

長野クラブ会長	(代行) 福島貴和	「出会いの種を育み咲かせる」 Let Our Seeds Bloom
あずさ部長	ピーター・マウントフォード (甲府)	「めあて 望み」
東日本区理事	山田公平 (宇都宮)	「ワイズの方向性を見極める」 Our Future Direction
アジア地域会長	ジョアン・ウォン (香港)	「大きなインパクトを起こそう」 Make a Great Impact
国際会長	A. シャナヴァスカン (インド)	「共により良い世界へ」 Together for a Better World

今月の聖句

「一つの部分が苦しめばすべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばればすべての部分が共に喜ぶのです」
(新約聖書 コリントの信徒への手紙 一 12 章 26 節)

2024 年 11 月 例会案内

- 日時 2024 年 11 月 20 日 (水) 18:30~20:30
- 会場 レストランやま 380-0834 長野市問御所 1315

例会進行：

- | | |
|----------------------|--------|
| ・開会点鐘 | 会長 |
| ・ワイズソング、ワイズの信条 | |
| ・聖書朗読、祈祷 | |
| ・会長あいさつ | |
| ・ゲスト、ビジター、キャンディデイト紹介 | 書記 |
| ・ワイズディナー | 食前の祈り： |
| ・卓話 | 福島会長 |
| ・諸報告・諸連絡、ハッピーバースデー | |
| ・ニコニコ献金、会員一言 | 会計 |
| ・YMCA の歌 | |
| ・閉会点鐘 | 会長 |

★★ 巻頭メッセージ ★★

『一緒に体験する楽しみ』

▼10月19日、部大会に行ってきました。長野からは福島、倉石、森本、勝田、湯田と5人が参加できました。ユースの活動報告が山梨YMCAのリードにて楽しく行われました。長野がホストした昨年の部大会の思い出も蘇ってきました▼短い時間でしたが、福島さんは石和温泉に来たからと隙間に温泉を楽しみ、エクスカッションで訪れたワイン工場で3万円もするワインを求め、思い出会を計画しています。帰りの電車の中ではいつもちょっとしたハプニングがあり、良き共通の思い出になっています。湯田さんはユース for 能登の実行委員としてユースの活動支援を継続しています▼またこの30日には、埼玉クラブの浅羽ワイズからの御誘いで、小淵沢にある「フィリア美術館」へ数人で出かけることにもなりました。これも、石和温泉からの帰り道に小海線に乗ってみたいというみんなの希望が偶然かなえられることになったのです▼仲良く一緒に行動してみることでより次の展開が開かれる、ってありがたいことです。(森本 記)

11 月ハッピーバースデー

なし

10 月のデータ

(中止のためデータなし)

会員数	— 名
例会出席者数	— 名
ゲスト	— 名
ビジター	— 名
例会出席率	— %
メーキャップ	— 名
修正出席率	— %
ニコニコ献金	— 円

10 月 19 日あずさ部大会スナップ



会長 (代行) 福島 貴和
書記 (代行) 倉石 美津子
会計 堀内 雅俊
連絡先 森本 俊子 (庶務)
tokoton921@gmail.com

山梨YMCAだより

ユースボランティア+シニアボランティア

総主事 中田 純子

先日、石和温泉で開催されたあすさ部部大会に参加し、改めて若者たちの可能性と世代を超えた交流の重要性を実感しました。甲府ワイズメンズクラブのご配慮により、ユース報告や交流の時間が設けられ、若者一人ひとりが輝ける場が提供されたことに、深く感謝いたします。

この大会でユースたちが注目を集め山梨YMCAの「銀河鉄道の森」プロジェクトについて、皆様にご紹介したいと思います。

このプロジェクトは、韮崎市中田に位置し、中央本線が近くを走る立地から、夜の電車が銀河鉄道のように見えることが名前の由来となっています。「銀河鉄道の森」は、単なる自然体験の場ではありません。ここでは、山里再生と若者のエンパワーメントを融合させた革新的な取り組みが行われています。ユースリーダーを中心としたボランティアたちが、手つかずの山里を整備し、遊歩道づくりや森の手入れを行っています。この活動を通じて、若者たちは自然との共生や持続可能な開発について、体験を通じて学んでいます。

毎月1回の定期活動では、ワイズメンズクラブの方々による温かい食事の提供があります。これは単なる食事提供以上の意味を持ち、若者たちの心と身体を支え、世代を超えた貴重な交流の場となっています。食事を囲みながら、若者たちとワイズメンの方々が語り合う姿は、まさに東日本区ワイズメンズクラブのユースエンパワーメントの理念を体現しているといえます。ここでは食を通じて多様な背景を持つ人々が集い、自己表現や交流ができる場所として、世代を超えた学びの場となることを期待しています。

山梨YMCAは、「みつかる。つながる。よくなっていく。」のスローガンのもと、これからも地域のニーズに応える活動を展開してまいります。「銀河鉄道の森」プロジェクトを通じて、若者たちの成長と地域の発展に貢献し、多くの人々に愛される場所として育てていきたいと思えます。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。共に手を取り合い、若者たちの力を活かした地域再生の新たな形を築いていきましょう。

主な記念例会、行事などの予定

11/24(日)13:00～ Y サービス大和クリエイティブクラブ

チャーターナイト（国際協会加盟認証状授与式）

於：北京飯店（最寄駅：小田急線大和駅）

12/7(土)13:00～ 厚木クラブ設立20周年記念例会

於：厚木YMCA（最寄駅：小田急線本厚木駅）

※湯田チャーターメンバーなので出席します。

12/12(木) 東日本区事務所所長、職員 応募期限

※別途募集要項あります。希望の方は湯田まで。

12/14(土)13:30～ 第26回アジア賞授賞式、交歓会

於：松本市駅前会館

※ご都合つく方はぜひ参加しましょう！

★リレーエッセイ☆

★今年度の新しい試みとして、クラブ会員による『リレーエッセイ』を始めます。字数は600～800字程度、今感じていること、ふだん興味があること、自分の趣味や特技、得意なことや苦手なこと、素朴な疑問、ペット自慢など、自由に書いてください。原稿には何か写真を一枚添付してください。また、最後に次の会員を指名してください。

～～～☆☆～～～

リレーエッセイ、トップバッターは湯田です。先日、11月3日に、私が所属している合唱団、長野市民合唱団コールアカデミーの定期演奏会がありました。

私は大学の聖歌隊で初めて合唱に触れ、たくさんの人が集まって声を合わせるハーモニーの楽しさを知り、キリスト教の宗教音楽の奥深さを学びました。

コールアカデミーには7月に入団しました。この合唱団は昨年、創立50周年を迎えた歴史のある合唱団で、約40名の団員がハーモニーを楽しんでいます。

アカデミーに入団して、年末の第九のような単発の合唱団ではなく、一年かけてじっくりと練習して曲を仕上げていくこと、団員同士のつながりも含めて内面からハーモニーを磨いていくこと、の楽しさを味わっています。



さて、コールアカデミーは、50周年を迎えた昨年「ゆづり葉」という合唱曲の作曲を委嘱し、その年の定期演奏会で初演、今年の演奏会でも歌いました。

「ゆづり葉は こんなに厚い葉 こんなに大きい葉でも 新しい葉が出来ると 無造作に落ちる 新しい葉にいのちを譲って——」

この曲を歌うたび、無造作に落ちて、新しい葉にすべてを譲ることができるように、私達は生きて、一生懸命造らなければならないと、心から思うのです。

コールアカデミーの2025年の定期演奏会は11月23日（日）に決まりました。ぜひ、今からご予約いただいて、私からチケットを買ってください！笑

次は、倉石さん、よろしくお願いします！

編集後記

城田さんが急逝する前、松本のあすさ部評議会にいらして、「東日本区大会でオーケストラ演奏でワイズソングを歌いたい」と、夢を語られました。演奏に心得のある方は、それは無理だと言いますが、どうすればできるか？を考えて実行に移したい。（湯田）